



# 岡山市来年度当初予算要求 前年度予算より161億円増加

岡山市の来年度当初予算の各局・室の要求が明らかになりました。一般会計の要求額は332億円で前年度予算より161億円の増加となっています。また新たに「救助実施市」の指定をめざします。

## 豪雨災害を受け、災害対策予算がアップ 自主防災組織育成予算は事項要求

市と市民が一体となった防災・減災対策の3億8千万円（前年予算1億2千万円）は自主防災組織育成や避難所物品整備などの予算ですが、自主防災組織育成事業は金額を示さない事項要求として、市長査定を経て、予算額が上乘せされます。

下水道・河川による浸水対策事業の17億9700万円（前年予算9億1700万円）はポンプ場整備やハザードマップの見直しなどに使われます。農林水産業施設等の復旧・防災力強化は、昨年の豪雨災害を受けた新規事業で、7億1100万円、災害復旧事業に加えてため池の点検調査などを行うものです。消防防災体制の強化事業も新規事業で、1億1300万円、水防活動用資機材の充実などに使われます。緊急情報伝達手段の整備事業にも、前年度730万円から1億6600万円にアップしています。

## 内水氾濫対策は、岡山市全域の課題

豪雨、ダム、河川、農業用水路、排水ポンプ、下水道、田畑、宅地開発など、今回の災害ではそれぞれが関連し、各地で内水氾濫が発生しました。市民の方に、「浸水は初めて

ですか」とお尋ねすると、「何回もある」という声をお聞きしました。

この機会に、内水氾濫がおきたそれぞれの場所で調査を行い、原因を明らかにして対策をとる事業や、災害を風化させない事業を行い、地域の安全安心を生む予算としなければいけません。

## 岡山市がめざす 「救助実施市」とは

昨年6月災害救助法が一部改正され、「救助実施市」という新しい制度が生まれました。

政令指定市がこの「救助実施市」に指定されると、今まで避難所の設置や応急仮設住宅の供与等の救助は都道府県知事が行っていましたが、「救助実施市」の政令市が自分の事業として迅速にできるようになります。

指定を受けるためには、災害救助基金を積み立てておかなければならないため、来年度予算に5億円を要求しています。

### 下市このみ後援会事務所開き

と き 2019年2月2日(土)  
10時から11時

ところ 下市このみ後援会事務所  
(下市このみ事務所と同じところです)  
岡山市中区高屋187-4  
イトフル高屋1階北側

岡山市議会議員選挙が4月に執り行われます。  
後援会事務所開きにぜひご参加下さい。

### 下市このみ事務所からのお知らせ

▼2月定例会市議会  
2月20日(水)～3月15日(木) 岡山市役所議会棟